

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第101回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第102回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第103回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第39回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第101回運営委員会議事録

日 時：5月19日(日) 18:30 - 20:30

場 所：連合大会会場203号室

運営委員会委員：

(出席) 田近 英一, 渡邊 誠一郎, 倉本 圭, 中村 昭子, 荒川 政彦, 林 祥介, 並木 則行, 千秋 博紀,
はしもと じょーじ, 平田 成, 荒井 朋子, 小久保 英一郎, 藤本 正樹, 橘 省吾, 佐々木 晶,
城野 信一, 小林 直樹, 中本 泰史, 生駒 大洋

(欠席 委任状有) 永原 裕子, 井田 茂, 渡部 潤一

(欠席 委任状無) 杉田 精司

オブザーバー：

玄田 英典(連合大会プログラム委員)

題・報告事項：

1. 会計第11期下期決算

荒井財務専門委員長より、概ね予算通りの執行との報告がなされた。まず、収入について、会費滞納回収が想定を上回った(想定は45万円であったが、実際は100万円回収)ことによる増額、匿名の方からの寄付による10万円の増額があったことが報告された。寄付金については、秋季講演会での最優秀発表賞の賞金に回すことにする。

一方、支出について、学会誌(3号)のページ増に伴う支出増、研究会補助(探査育英会15万円)に伴う支出増、最優秀研究者賞の賞金を廃止したことによる学会賞特別会計での支出減(10万円)、管理費の基礎開発費未支払費(21万円増)があったという報告がなされた。

なお、総会用に印刷した貸借対照表にミスがあり、総会において口頭で修正することとする。監査には報告済みである。会計第11期下期決算は了承された。

2. 会計第12期上期予算執行状況報告

荒井財務専門委員長より、今年度の会計も予定通りであるとの報告がなされた。2013年度は会費免除者なし。また本年度も同様に10万円の寄付金あった。

林運営委員から、今年度から最優秀研究者賞受賞者に対して副賞として記念品を贈呈することになったが、

贈呈品の予算計上がどうなっているかという質問があった。それについて、計上されていないのでマイナス会計となるが、本年度は特別であり、次年度から恒常化すればよい、という回答があった。会計第12期上期予算執行状況報告は承認された。

3. 第11期下期活動報告ならびに第12期活動計画

平田総務専門委員長より活動報告書と計画書について説明があり、内容は了承された。

4. 学会賞選考委員の入れ替え

平田総務専門委員長から学会賞選考委員の入れ替えの報告がなされた。退任が4名(野口高明会員・岡田達明会員・関根康人会員・小林直樹会員)、就任が4名(佐伯和人会員・杉田精司会員・小林浩会員・和田浩二会員)である。次期委員長は、次の学会賞選考委員会会合で決まる予定である。学会賞選考委員の入れ替えは承認された。

5. 入退会状況について

平田総務専門委員長から入退会状況について報告がなされた。

6. その他総務からの案件

平田総務専門委員長から総会の議長として松本晃治会員、書記として鎌田俊一会員が提案され、運営委員会によって承認された。

7. 遊星人の発行状況報告

はしもと編集専門委員長より、滞りなく発行が進んでいるとの報告があった。

8. 2012年度最優秀研究者賞について

林学会賞選考委員長より、2012年度最優秀研究者賞として、学会賞選考委員会は成田憲保会員を推薦するとの報告があった。推薦者は生駒大洋会員。評価文が読み上げられ、講評が述べられた。運営委員会はこれを承認した。

9. EPSとJpGUジャーナルについて

佐々木欧文誌専門委員長より、JpGUの新ジャーナルに関する報告がなされた。JpGUの中でEPSに属さない学会から新しいジャーナルを作りたいという議論が2～3年前に立ち上がった。EPSを拡大するという議論はあったが、新ジャーナルを立ち上げることになった。(ただし、将来的に合併する可能性は残っている。)2016年からスタートする予定である。新ジャーナル名は“Progress of Earth and Planetary Science”。両ジャーナルとも科研費の公開促進費で賄えるようになった。これを用いて、投稿費の減額や海外エディターの招聘などを考えている。連合会員がたくさん論文を投稿することが強く求められる。ミッションなどの特集号を出すようにしてほしい。

中本会員に代わって大槻圭史会員が新たなEPS編集委員になった。そのために、大槻会員を欧文誌編集委員に追加する。

EPS誌参加5学会長会議では、将来JpGUジャーナルとどのような関係になるべきかについては、あまり議論されなかった。分担金は当面変わらない。今回科研費が通らなかった場合、赤字ができれば5学会で負担する取り決めであるが、科研費が通ったので出費はなくなった。(田近会長)

Q: 紙媒体ではなく電子ジャーナルである。何に費用が必要なのか? (渡邊会員)

A: 投稿料の減免に使う予定(佐々木会員)

Q: EPSについて、特集号を作る際に海外からの投稿が半分以上を占める必要があるという縛りは残っているのか? (林会員)

A: 現在は、それほど強い縛りはない(中本会員)

10. 連合関係

永原連合連携委員長代理で、田近会長から連合大会関連の報告があった。来年度の連合大会は4月28日～5月2日にパシフィコ横浜で開催される。会場変更の理由は、セッション数の増加のため幕張メッセでは

手狭になったから、再来年度は、幕張メッセに戻るが、その後は不明。

11. 2013年秋季講演会・学会賞実施案等

小久保2013年度秋季講演会組織委員会総務から、準備が順調に進んでいるという報告があった。日程は11月20日～22日。21日に総会と懇親会、発表賞受賞講演が行われる。講演会場は石垣市民会館。懇親会はホテルミヤヒラ。詳細は、遊星人の次号に載る。

なお、石垣島にある2つの天文台を開放し、会員は自由に見学できるようにする予定である。また、夜の観望会も企画している。

Q：ネットはどうするか？

A：経費を費やせば用意できるが、今のところその予定はない。（小久保）

Q：運営委員会など会議スペースはあるのか？

A：確保するようにする。（小久保）

12. 2014年秋季講演会について

玄田2014年度秋季講演会組織委員会委員から2014年度の秋季講演会に関する報告があった。2014年度のLOCは東工大。委員長は井田茂会員である。場所は、大岡山キャンパス。日程は現在検討中。

13. 2015年秋季講演会LOCの提案

中村行事部会長から、2015年度秋季講演会のLOCとして東北大学が提案された。委員長については、中村智樹会員にお願いしている。その他詳細は未定。運営委員会はこれを承認した。

14. 連合大会プログラム委員からの報告

今期の連合大会も滞り無く行われていると玄田連合大会プログラム委員から報告があった。来期について、正プログラム委員として山田耕会員が、副委員として納田明達会員が提案された。また、惑星科学セッションのコンビナーとして、奥住聡(正)と黒沢康祐(副)が提案された。運営委員会はこれを承認した。

その他の報告事項として、宇宙惑星科学セクションにも学生賞を設けることに対する要請があると佐々木会員から報告があった。2014年度から始める予定。

15. 木星系探査研究会の設立について

並木将来惑星探査検討グループ長より木星系探査研究会を設立するという提案がなされ、承認された。

16. 来る10年第三段階について

並木将来惑星探査検討グループ長より、来る10年の活動報告があった。3つの提案について、第3段階で1時間ずつのヒアリングを行った。まだMC案として不十分なので、練り直しが必要。そのために、サポートを付けて、この夏に完成度をあげてもらう予定。可能であれば、来年の連合大会までに何らかの答えを出すつもりでいる。

次に、田近会長から今年1月の宇宙基本計画制定以降日本の宇宙科学・探査を取り巻く現在の厳しい情勢についての説明があった。

17. 今後の惑星探査の中長期ビジョンについて(渡邊副会長ほか)

渡邊副会長から、(1)理学研究の宇宙科学研究所への機能集約、(2)木星探査ミッションJUICEへの参加、(3)理工一体プロジェクトなど宇宙探査の取り巻く状況の説明があった。惑星科学コミュニティが考えなければならないこととして、

- ・εロケットを使った惑星探査
- ・基礎技術実証のミッション(地球のエアロキャプチャ)
- ・ピギーバックの有効利用
- ・外惑星領域クルーズ vs 固体惑星(月)着陸
- ・固体内部 vs 地質 vs 大気観測 vs プラズマ【火星】
- ・超長期ミッション(JUICSは2032年到着)

- ・世界初の工学成果：ピンポイント着陸／超夜はOK？
- ・政策ミッションにつきあえるか？
- ・どのような枠組みを構築するか：大型計画

が挙げられた。

次に、藤本会員からコメントがあった。それぞれバラバラにお金を取ってくるのではなく、計画を決めてから行う必要がある。国際協力が必要。日本では、本格的なミッションはできない。チャンスをつかむ実力をつけるために独自のミッションを行っている。うまく立ち回るために、工学との連携を強化する必要がある。宇宙研では、そろそろ機運が高まって来たので、今がチャンスである。

その後、今後の対応について、荒川会員を中心に討論された。

18. その他

○大規模計算ワークショップについて

林会員から、秋季講演会期間中に、石垣で大規模計算ワークショップを行うという報告があった。また、関連する研究者の講演を最終日のセッションに集めてくれるようLOCに要請があった。

○学術の大型研究計画公募への対応

倉本副会長から学術の大型研究計画公募への対応について説明がなされた。

- ・JPGU「学術の大型研究呼び調査」2012年11月15日締切
- ・地惑全分野から合計25件の提案。うち10件が惑星科学関連
- ・2012年12月13日「大型研究懇談会」を呼びかけ、できれば集約したい。
- ・10件のうち半分はミッション提案。残りはコミュニティにサービス提案
- ・会長指名で倉本副会長がとりまとめ。
- ・2013年2月28日「宇宙惑星科学の将来を語る会」でコンソーシアム構想の素案を紹介。学術ゴールを明確に
- ・2013年3月31日ウェブ入力フォームから応募
- 「太陽系生命前駆環境の実証的解明のための統合プログラム」
- 探査を中心に
- 申請者：田近会長
- 推薦者：中島(学術会議)、中村正人(連携会員)、坂本尚義(連携会員)
- ・2013年4月5日 日本学術会議地球惑星科学ヒアリング
- ・今後学術会議内で計画を策定

◇日本惑星科学会第102回運営委員会議事録

期 間：2013年6月3日(月)～6月10日(月)

議 題：編集専門委員会委員の新任の承認

運営委員会委員：

出席者 23名

田近 英一，渡邊 誠一郎，倉本 圭，中村 昭子，荒川 政彦，林 祥介，生駒 大洋，渡部 潤一，並木 則行，永原 裕子，井田 茂，千秋 博紀，はしもと じょーじ，平田 成，荒井 朋子，小久保 英一郎，藤本 正樹，橘 省吾，佐々木 晶，城野 信一，小林 直樹，中本 泰史，杉田 精司

欠席者 なし

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にe-mailにより投票

議 題：編集専門委員会委員の新任の承認

編集委員の新任

* 成田憲保(国立天文台)

* 上相真之(宇宙研)

* 三浦均(名古屋市立大)

議題は全会一致で承認された(可23, 否0)。

なお、これに伴って現職編集委員の杉田精司(東大)は退任とする。

◇日本惑星科学会第103回運営委員会議事録

期 間：2013年6月20日(木)～6月27日(木)

議 題：1. 秋季講演会LOC担当年度の入れ替えの承認

2. 行事部会委員の新任の承認

報 告：東北大秋季講演会LOCの人事について

運営委員会委員：

出席者 22名

田近 英一, 渡邊 誠一郎, 倉本 圭, 中村 昭子, 荒川 政彦, 林 祥介, 生駒 大洋, 渡部 潤一, 並木 則行,
永原 裕子, 井田 茂, 千秋 博紀, はしもと じょーじ, 平田 成, 荒井 朋子, 小久保 英一郎, 藤本 正樹,
橘 省吾, 佐々木 晶, 城野 信一, 小林 直樹, 中本 泰史

欠席者 1名

杉田 精司

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にe-mailにより投票

議題1。秋季講演会LOC担当年度の入れ替えの承認をお願いしたい

[変更前]

2014年：東京工業大学

2015年：東北大学

[変更後]

2014年：東北大学

2015年：東京工業大学

＜中本泰史東工大秋季講演会実行委員からの説明＞

2012年の夏頃、2014年秋季講演会LOCの打診を受けて受諾したあと、東工大・地惑メンバーを中心としたWPIプログラムが採択され、2012年12月、東工大内に地球生命研究所(以下ELSI)が設立されました。ここでは、惑星科学に深く関係したテーマの研究が展開されます。さらに2013年春、ELSIの新棟建設も決まりました。2014年度末の完成を目指し、2013年夏頃から工事が始まります。こうした流れを踏まえ、惑星科学会秋季講演会を東工大LOCで開催するのなら、ELSIの新棟完成後にそのお披露目もかねて開催するのが、

ELSIにとってはもちろん、惑星科学会のみなさんにとってもよいのではないかと考えました。そこで東北大の中村智樹さんに相談したところ、ご協力いただけるというお返事をいただいたので、正式にLOC入れ替えのお願いをする次第です。

＜中村昭子行事部会長からの説明＞

行事部会では、東工大が2015年に開催を希望される理由を理解し、さらに、東北大の2014年開催について

- ・東工大からは、複数人分のマンパワーについて協力の内諾を得ている。

業務分担(www-adminを東工大からという案も含め)についてはこれから話し合う。

今年の秋季講演会引継ぎ会への東北大の主なメンバーの旅費は確保されている。

- ・会場は候補が複数ある。

ことを確認しました。

議題は全会一致で承認された(可22, 否0)。

議題2. 行事部会委員の新任の承認をお願いしたい

木村勇気(東北大)

議題は全会一致で承認された(可22, 否0)。

報告. 東北大秋季講演会LOCの人事について

東北大秋季講演会の正副実行委員長が以下のように決定した。

- ・委員長： 中村智樹
- ・副委員長： 笠羽康正

◇日本惑星科学会第39回総会議事録

日 時：5月20日(月) 13:00 - 14:00

場 所：日本地球惑星科学連合2013年大会会場304号室

千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 幕張メッセ国際会議場

正 会 員：610

定 足 数：61

参加人数：61(議事3.1時点), 62(議事3.2時点)

委 任 状：118通(議長114, 生駒大洋会員1, 林祥介会員1, 佐々木晶会員1, 千秋博紀会員1)

1. 開会宣言

平田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に松本晃治会員, 書記に鎌田俊一会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第11期下期(2012年度)活動報告

- ・基調報告

田近会長より2012年度の事業概要，連合大会と秋期講演会の概要，学会誌発行状況等の説明がなされた。

- ・会計報告

荒井財務専門委員長より概ね予算通りの収入・支出であったことが報告された。また，滞納分支払いが前年度と比較して大幅に増えたことが報告された。

- ・会計監査報告

関谷会計監事より誤りがないことが確認したと報告された。

- ・2012年度最優秀研究者受賞者発表

林学会賞選考委員長より成田憲保会員に決定されたことが報告された。

- ・各種専門委員会報告

- ・欧文誌専門委員会

佐々木欧文誌専門委員会委員長よりJPGUによる新雑誌の名称が「Progress of Earth and Planetary Science (PEPSI)」に決まったこと，また同誌と従来の欧文誌「EPS」との関係が報告された。また，2014年度から連合大会学生発表賞に宇宙惑星科学部門が参加することが報告された。

- ・採択

第11期下記活動報告の採択が行われ，賛成：179(うち出席者61)，反対：0，保留：0により採択された。

3.2. 第12期上期(2013年度)活動方針

- ・基本方針

田近会長より惑星探査を取り巻く状況に関して報告がなされた。ピギーバック問題などを例に，理工連携による協力体制や10－20年スパンの惑星探査ロードマップの必要性に関して説明がなされた。これらについては田近会長より荒川将来計画委員会委員長に検討するよう指示があったことも報告された。

- ・各種専門委員会活動方針

例年通りで特に報告はなし。

- ・質疑応答：なし

- ・採択

第12期上期活動方針の採択が行われ，賛成：189(うち出席者62)，反対：0，保留：0により採択された。

4. 報告事項

4.1. 2013年秋季講演会について

小久保2013年度秋季講演会組織委員会総務委員より会場やその周辺，一般講演の内容等について報告がなされた。

4.2. その他

林運営委員より2013年度秋期講演会前日に開催予定のシンポジウムに関するアナウンス，千秋運営委員によるフロンティアセミナーに関するアナウンスがあった。また倉本副会長より，連合大会期間中における惑星探査コンソーシアムの説明予定が報告された。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2013年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

アメテック株式会社カメラ事業部
株式会社五藤光学研究所
有限会社テラパブ
株式会社ニュートンプレス

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2013/09

27-28 可視化情報全国講演会(2013会津)

(a)会津大学 (b)一般社団法人 可視化情報学会(日本惑星科学会協賛)
(c)<http://web-ext.u-aizu.ac.jp/conference/vis2013/>

2013/10

9-11 第57回宇宙科学技術連合講演会

(a)米子コンベンションセンター (b)日本航空宇宙学会(日本惑星科学会協賛)
(c)<http://ukaren57.u-aizu.ac.jp>

2013/11

14-16 第54回 高圧討論会

(a)新潟市(朱鷺メッセ) (b)日本高圧力学会(日本惑星科学会協賛)
(c)<http://www.highpressure.jp/new/54forum/>

20-22 日本惑星科学会秋季講演会

(a)石垣市民会館, 沖縄県, 石垣市 (b)日本惑星科学会主催
(c)https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/